

## 千葉正也 CV

1980年 神奈川県生まれ、東京都在住  
多摩美術大学絵画学科油画専攻卒

### 個展

2022	「Appearing → Talking about the object of regrets or obsession → Dancing → Leaving (resting in peace or just simply leaving)」Bel Ami (ロサンゼルス)
2021	「千葉正也個展」東京オペラシティアートギャラリー (東京)
2018	「αM 2018『絵と、』vol.4 千葉正也」Gallery αM (東京) 「宇宙英雄ペリーロードンと私の生活」Art Center Ongoing (東京)
2017	「思い出をどうするかについて、ライトボックス風間接照明、八つ裂き光輪、キスしたい気持ち、家族の物語、相模川ストーンバーガー、わすれてメデューサ、50m先の要素などを用いて」シュウゴアーツ (東京)
2016	「Pork Park」シュウゴアーツ ウィークエンドギャラリー (東京) 「千葉正也」THE STEAK HOUSE DOSKOI (東京)
2011	「生きていたから見れた素晴らしい世界」シュウゴアーツ (東京) 「果てしなく快適な生活」16 Bungee (ソウル)
2008	「三ツ境」シュウゴアーツ (東京)

### 主なグループ展

2021	「Natsuyasumi: In the Beginning Was Love」Nonaka-Hill (ロサンゼルス)
2020	「ニュー・インテイマシー」soda (東京) 「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ (東京)
2019	「アッセンブリッジ・ナゴヤ」旧・名古屋税関港寮 (名古屋) 「Scaffolds of Meaning / 懶音」Mine Project (香港) 「VIDEOBOX x BEL AMI」Video Box (パリ) 「THE SHOP」THE STEAK HOUSE DOSKOI (東京) 「POSTERS」FUKUGAN GALLERY (大阪) 「百年の編み手たち -流動する日本の近現代美術-」東京都現代美術館 (東京)
2018-19	「SCHMALTZ」Guimarães (ウィーン)
2018	「上海ビエンナーレ」the Power Station of Art (PSA) (上海) 「めがねと旅する美術展」青森県立美術館、他巡回 「どう生きるか #2 六本木にて」シュウゴアーツ (東京) 「Masaya Chiba & Shogo Shimizu」The Steak House DOSKOI (東京) 「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ (東京) 「Ongoing 2008-2018 ドキュメント刊行記念「現在進行形の10年間」Art Center Ongoing (東京)
2017	「MAM コレクション 006: 物質と境界—ハンディウィルマン・サブトラ+千葉正也」森美術館 (東京)

# ShugoArts

	<p>「家村ゼミ展 2017 高柳恵里 × 高山陽介 × 千葉正也」多摩美術大学 八王子キャンパス アートテーク・ギャラリー（東京）</p> <p>「奥能登国際芸術祭」石川県珠洲市全域（*OngoingCollective としての参加）</p> <p>「シュウゴアーツショー 1980年代から2010年代まで」シュウゴアーツ（東京）</p> <p>「Sylvanian Families Biennale 2017」XYZ collective（東京）</p>
2016	「Discordant Harmony」Taipei National University of the Arts（台北、台湾）
2015	「by the mountain path」White Rainbow Gallery（ロンドン、イギリス）
	「Discordant Harmony」アート・ソング・センター（ソウル、韓国）
	<p>「シュウゴアーツ：毎週末の画廊、三宿 SUNDAY の隣」シュウゴアーツ（東京）</p> <p>「042 art area project 2015 SUPER OPEN STUDIO 関連企画 SOMETHINKS」アートラボはしもと（神奈川）</p> <p>「Discordant Harmony」広島市現代美術館（広島）</p>
2014	<p>「希望の原理」国東半島芸術祭（大分）</p> <p>「コンタクト」東京都現代美術館（東京）</p> <p>「絵画の輪郭」シュウゴアーツ（東京）</p> <p>「絵画の在りか」東京オペラシティアートギャラリー（東京）</p>
2013	<p>「Mono No Aware. Beauty of Things. Japanese Contemporary Art」エルミタージュ美術館（サンクトペテルブルク、ロシア）</p> <p>「六本木クロッシング 2013 展アウト・オブ・ダウト—来たるべき風景のために」森美術館（東京）</p> <p>「アートがあれば II」東京オペラシティアートギャラリー（東京）</p> <p>「2013 California-Pacific Triennial」Orange County Museum of Art（ニューポートビーチ、アメリカ合衆国）</p> <p>「ワンダフル・マイ・アート 高橋コレクションの作家たち」河口湖美術館（山梨）</p> <p>「Re:Quest—1970年代以降の日本現代美術」ソウル大学校美術館（ソウル、韓国）</p> <p>「東京画 II」東京都美術館（東京）</p>
2012	<p>「国東半島アートプロジェクト」国東半島（大分）</p> <p>「NOT AUTHORITY, BUT ART 常識に尻を向けろ。」代官山アートストリート（東京）</p> <p>「Sculpture by Other Means」ONE AND J. GALLERY（ソウル、韓国）</p>
2010	「Day to-day」MARTOS GALLERY（ニューヨーク）
2009	<p>「ウィンター・ガーデン:日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」原美術館（東京）</p> <p>「Hello! MIHO KANNO」東京ワンダーサイト渋谷（東京）</p> <p>「福武ハウス in 越後妻有アートトリエンナーレ 2009」越後妻有アートトリエンナーレ（新潟）</p> <p>「Twist and Shout」Bangkok Art and Culture Centre（バンコク、タイ）</p>
2008	<p>「ネオテニー・ジャパニー高橋コレクション」鹿児島県霧島アートの森（鹿児島）／札幌芸術の森美術館（北海道）／上野の森美術館（東京）／新潟県立近代美術館（新潟）</p> <p>秋田県立近代美術館（秋田）／米子市美術館（鳥取）</p> <p>「VOCA 展」上野の森美術館（東京）</p>
2007	「ritual」東京ワンダーサイト渋谷（東京）
2006	「4人展」シュウゴアーツ（東京）

# ShugoArts

	「福武ハウス in 越後妻有アートトリエンナーレ 2006」越後妻有アートトリエンナーレ（新潟）
--	--

## パフォーマンス

2016	「自画像#5」 シュウゴアーツ ウィークエンドギャラリー（東京）
2015	「自画像#3」 アート・ソングェ・センター（ソウル、韓国）
2014	「自画像#2」 blanclas（神奈川）
2012	「自画像」 Art Center Ongoing（東京）
2011	「併走論」 トーキョーワンダーサイト渋谷（東京）

## オープンスタジオ

2019	「042 art area project 2019 SUPER OPEN STUDIO」 アートラボはしもと（神奈川）
2018	「042 art area project 2018 SUPER OPEN STUDIO」 アートラボはしもと（神奈川）
2017	「042 art area project 2017 SUPER OPEN STUDIO」 アートラボはしもと（神奈川）
2016	「042 art area project 2016 SUPER OPEN STUDIO」 アートラボはしもと（神奈川）
2015	「042 art area project 2015 SUPER OPEN STUDIO」 アートラボはしもと（神奈川）
2014	「042 art area project 2014 SUPER OPEN STUDIO」 アートラボはしもと（神奈川）
2013	「042 art area project 2013 SUPER OPEN STUDIO」 アートラボはしもと（神奈川）

## パブリックコレクション

M+ The West Kowloon Cultural District Authority（香港）
Musee d'Art Moderne Grand Duc Jean（ルクセンブルグ）
Orange County Museum of Art（ニューポートビーチ、アメリカ合衆国）
国際交流基金（東京）
森美術館（東京）
東京国立近代美術館（東京）
東京都現代美術館（東京）